

2023年4月10日

足利銀行における実質再生可能エネルギー電力導入対象店舗等の追加について

めぶきフィナンシャルグループの足利銀行（頭取 清水 和幸）は、2023年4月より、保有する2つの店舗等において、東京電力エナジーパートナー株式会社（代表取締役社長 長崎 桃子）が提供するトラッキング付き FIT 非化石証書^{※1}等が付与された実質再生可能エネルギー電力を導入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

めぶきフィナンシャルグループでは、「グループサステナビリティ方針」および「グループ環境方針」を公表^{※2}し、2030年度までに自社グループのCO2排出量をネット・ゼロとすることを目指しております。本取り組みは、2022年7月に実施した取り組みと同様^{※3}、使用電力に起因するCO2排出量の削減を図るため、再生可能エネルギーへの切り替えを進めるものです。

めぶきフィナンシャルグループは、今後も持続可能な社会の実現に向け、省エネ・省資源への取り組みを積極的に推進するとともに、環境に関する情報開示に努めてまいります。

※1 再生可能エネルギーの売買を可能とする非化石証書のうち、太陽光、風力、水力などのFIT電源が対象のもの。

※2 [2022年3月28日付 ニュースリリース「サステナビリティへの取組強化について」](#)を参照ください。

※3 [2022年7月25日付 ニュースリリース「常陽銀行本店・足利銀行本店を含む5カ所のビル敷地内における再生可能エネルギー電力の導入について～CO2排出量削減目標「2030年ネット・ゼロ」に向けた取り組み～」](#)を参照ください。

記

1. CO2排出量削減効果

年間1,710トン見込[※]（2021年度の足利銀行のCO2排出量の約22%相当）

※ 東京電力エナジーパートナーの2021年度調整後排出係数により算出

2. 実質再生可能エネルギー電力を導入する店舗等

- ・足利銀行 宇都宮中央支店（研修センター含む）
- ・足利銀行 電算センター

以上



【常陽銀行・足利銀行における再生可能エネルギー電力の導入実績】

導入時期	導入対象店舗等		CO2 排出量削減効果(見込)
	常陽銀行	足利銀行	
2022年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・本店 ・つくばビル ・ひたちなかビル ・事務センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・本店 	年間 4,293 トン ^{※1}
2023年4月		<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮中央支店 ・研修センター (宇都宮中央支店内) ・電算センター 	年間 1,710 トン ^{※2}
合計	4か所	3か所	年間 6,003 トン ^{※3}

※1 東京電力エナジーパートナーの2020年度調整後排出係数により算出

※2 東京電力エナジーパートナーの2021年度調整後排出係数により算出

※3 常陽銀行と足利銀行の2021年度CO2排出量の約32%相当